宮城から、伝えたいこと。

Baton

バトン vol. **11**

のながれ、どこまでも

POM MIYAG

情報を得る、使う、災害と共に生きる

きて・みて

【語り部】みやぎ中学生・高校生震災伝承プロジェクト(気仙沼市)

【伝承施設】 亘理町立郷土資料館(亘理町) 杜の都バイオマス発電所 蒲生なかの郷愁館(仙台市)



あしたのクリエイティブ石巻市の「追波湾テラス~考える葦~」

多質城市にある「末の松山」。「大きな津波が襲っても「末の松山」を越えることはできない」とのいわれから、 越すに越せない大きな存在を意味するようになったとされ、平安時代から様々な歌枕として詠まれている。その ことが石碑や案内板に書かれている。実際に、東日本大震災時は津波がここには到達しなかった。

東北大学災害科学 国際研究所准教授 佐藤翔輔さん

を守る

佐藤翔輔さんは、東日本大震災

の翌日から東北大学に赴任となり、

3.11の研究を始めることに。学生

時代に新潟県で地震と水害の両

方を経験したこともあり、災害研究

3

に取り組んでいた。

究分野を学際的に網羅する東 災害をめぐるさまざまな研

設立され 科学的に分析記憶や行動を定量化して 東日本大震災の経験を契機に 北大学災害科学国際研究所。 たこの研究所では、 ルド り組むのは、 にまたがる佐藤翔輔さんが取 そのなかで複数の学問領域

確立することをめざしていま 深化させ、 世界が必要とする災害科学を 実践的な防災学を

を

科学的に解明し、

エビデン

承されて

かは、

従来は文

のプ

情報がどう役立った

かなど

「災害の記憶がどの

る研究です

それらは東日本

スに基づいた改善策を開発す

として災害伝承・

継承の

被災地をフィ

○岩手県 18 ● 宮城県 16 14 12 死亡率(%) 10 6 20 0 10 30 最大津波高さ(m) [図①]

20

東日本大震災における小地域別にみた最大津波高さと死亡率の関係 出展:佐藤翔輔(2021):記憶伝承の科学,「東日本大震災からのスタ ート 災害を考える51のアプローチ」, 第32章, pp. 129-132, 東北大学 災害科学国際研究所(編),東北大学出版会

ある

いは当時災害対応にあた

リアル施設や伝承活動の支援 大震災の被災地におけるメモ

情報科学を専攻した私は、

災

主流でした。

しかし、

工学や

で定性的に研究されることが 化人類学や民俗学などの領域

害の伝承における多様な問題

Ļ

数字で明らかに 防災・減災の実

査・研究「災害エスノグラフ

- 」などにつながっていま

った根底には強い思いが

する情報を知り、

意識の片隅

えました。

つまり、

災害に関

践や啓発に役立つのではと考

することで、 を定量化

佐藤さんが研究に取り掛

た人の体験を記録した調

究テーマでもあります」。 学的なエビデンスはより重要 識ももちろん大切ですが、 段となることを科学的に明ら と共生していくための鍵であ に置くことが被害を免れる手 いこの国土で、 「過去に起きた災害」 ・豪雨などによる災害が多 れは地震・津波・ 実はそれが私の本来の研 自分の経験や知 私たちが自然 に関す 火山噴

示す例として、 れました。 くつかの分析結果を示してく る情報を得ることの重要性を 「東日本大震災の各地の津波 佐藤さんはい

1.50

1.00

0.50

りました」。 県は必ず 死亡率が高い地域が多く 津波が相対的に高くなくても 死亡率が比較的低い地域がた が非常に高い地域であっても 高と犠牲者数をグラフにする るのでは、 被害の伝承の たことが分かります。 くさんあります。 一つはおそらく過去の津波 しもそうではなく、 と考えるようにな 岩手県では津波 有無や程度にあ でも、 その差 、あっ 宮城

浮かんだこと」 また、 「地震を感じて頭に というア

25.0%

20.0%

15.0%

10.0%

5.0%

0.0%

した。 津波の後に毎年慰霊祭が行わ がある」と答えた人が岩手で れていたという事実もありま 数の犠牲者を出した昭和三陸 者がゼロだった地域では、 を知ることが、 アクションがあった人が多く 陸津波のことを知 た調査では、 は半数に上ったのに対し、 ったといえます。 ことがある」と事前の情報や 「それにつ この地域には津波が来たこと いました。 岩手県陸前高田市で行っ 福島では少数です。 「1933年の昭和三 (図②) では、 過去の災害の情報 いて家族で話した 避難した人の中 自分の命を守 さらに犠牲 って かた さら 多

表され、 やる方も 解が深まり、 合わせて伝えることでより理 起きた具体的な出来事を組み 値や視覚的なグラフで根拠が そうだと思っているとおっ て記憶に刻まれるはずです」。 「そんなの肌感覚でだい 断片的な個別事象だけで 体系的・科学的な調査 いるかもしれません かも被災の現場で 具体的な数 たい

Q 1.37

伝える力 目の前の生の声」が

を知っていて、 用な情報がある』 と」と強調します きにそれを引っ張り の情報を覚えてい 一方で佐藤さんは 重要なのは、 いざと なくても ということ 『そこに有 「すべて [せるこ いうと

た日の夜、 おいて支援の指揮を取る立場 例えば東日本大震災が起き くく つかの組織に

> 明日から何をすべきか、こればるように読んだといいます。 協会)などの災害記録をむさ像』(阪神・淡路大震災記念 ニックス か 各部署• 淡路大震災10年 書架に備えられていた『阪神・ という緊迫した状況のなかで 人は、 らどんな事態が待って 各人が 情報が入ってこな 創造的復興へ 翔ベ フェ の群

> > っていたわけです。

聞いてもらい、 験を異なる伝え方で被検者にでしょうか。ここに、被災体 形で成されるのが効果的なの あるいは伝承は、どのような では、 か。ここに、 個人間の情報の伝播 どれだけ記憶

耳で聴くことに集中したから 話が最も記憶が鮮やかでした

90 ■直後(p=0.610) 80 直後 平均 67.5 □8ヶ月後**(p=0.007) 70 61.5 60 49.0 50 € 40 ヶ月後 平均 24.4 朝 到 30 20 12.7 10 生語り(本人)生語り(弟子) 音声 映像 テキスト (n=19/8) (n=16/8) (n=14/7) (n=18/12) (n=17/9)

【図③】 語りの再生量(記憶量)の比較(直後、8ヶ月後) 出典: 佐藤翔輔, 邑本俊亮, 新国佳祐, 今村文彦(2019): 震災体 験の「語り」が生理・心理・記憶に及ぼす影響:語り部本人・弟子・映 像・音声・テキストの違いに着目した実験的研究,地域安全学会論 文集, No.35, pp. 115-124

岩手県 宫城県 福島県 めば甚大な自然災害を体験 かを知るためです。すなわち 【図②】 東日本大震災発生時点における過去の津波の想起6) 引用:佐藤翔輔,新家杏奈,川島秀一,今村文彦(2018):東日本大 震災の発生前における津波伝承に対する認識の地域間比較・評価、 土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.74, No. 2, I_505-I_510 「その本を読 いる

0.22

地震が発生した際に頭に思いうかんだこと ■過去にこの場所まで大きな津波来たことあるという話

□過去にこの場所まで大きな津波来たことないという話

-◇ある/ない比

た都市の事例がわかる」 と知

に残るかを実験した結果 聞いた直後は音声で聞い があります。

覚えられていたということで 当事者の生の語りの次によく んから聞いた場合でも、被災い弟子のような若い語り部さ ではない場合。被災体験のな 深いのは、 なら生の語り、 期記憶は音声のみ、長期記憶 めて覚えているようです。 情や身振り、 前にいる人の話。その人の表 り残っていたのはやはり目の 聞いた話ほどは記憶に残って 音声や映像は対面した人から いませんでした。最もはっき にちをおいて再調査すると、 でしょう。次が映像。でも日 話者が被災当事者 たたずまいを含 ですね。興味 短

組みの意義を裏付けるもので 員として活躍していますが、 世代の人がボランティア解説 小学生から大学生など、 日本大震災津波伝承館」 を入れています。「みやぎ東 の外に住む語り部の育成に力 は若い世代の語り部や被災地 各地の伝承施設や伝承団体で この調査結果はそうした取り 震災から13年が経った今、 でも 若い

暮らしの知恵と 生き残った人のスト ij

を守る大切な情報です。 に基づく口伝もまた命や生活 定量的な数字のデー 地域の言い伝えや実体験 台風19号 タに加

者にとっては、 この3つがそろうことがとて 恵。第2のポイントは、その 番高いところにある堤防にト は守られ、トラクターも整然 たらしましたが、幸い住民は 防を越水して地域に被害をも おかげで排水ポンプ車が通行 も大事です。 ポイントは、トラクター こさせたということ。第3の 知恵が迅速に実際の行動を起 ラクターを上げる』という知 れについて佐藤さんは、「第 と並んだまま無事でした。こ しっかりと避難したことで命 集落がありました。川水は堤 クターを堤防上に避難させた で宮城県の吉田 しできたというスト られたために農業の再開が早 1のポイントは、『地域で一 生活の立て直しを後押 生業に欠かせないトラ 9年10月、 ただ、河川管理 トラクター 川が増水した -が 守



できず、地域全体の復旧が妨

流域に豪雨をもたらしました。 や大蔵村では、河川が氾濫し かわらず犠牲者は出ませんで て大変な被害を受けたにもか しかし、山形県内の大石田町 上して最後に山形県の最上川

本三大急流の球磨川が大変な 大急流」に数えられます。 道を見聞きした山形県の人た ことになっている」という報 日

> 予測して行動を起こしたとい 認識していました。そこで、 ちは、 「最上川も危ない」と自分た ちの状況に当てはめ、危機を の一つであることを日頃から わけです。 最上川も日本三大急流

敏感に張って目の前のニュー こと。みなさんもアンテナを を合致させる能力があっての ついての知識と目の前の情報

説します。 げられたという側面があった ことを付しておきます」と解 また、 災害が何度も起こっ

例です。 影響でまず熊本県の球磨川が ひどい被害を受け、それが北 20年7月の山形豪雨がその 伝わることも重要です。20 を「地域を越えて」伝える、 しまう昨今では、 停滞した梅雨前線の その経験

球磨川も最上川

も「日本三

「それは自分の暮らす地域に

では、 気仙沼市のコンセプトは『海 波であれほどの被害を受けた クのコンセプトは『自然災害 地域にある栗駒山麓ジオパー 城内陸地震で山塊が崩落した です。2008年の岩手・宮 住むこと、すぐ避難すること す。災害が起きても命を守れ Ð まさに災害のある風土を受け と生きる』ですが、いずれも との共生と豊穣の大地』、津 るように、 というよりは、 の〟と考えることが重要で 災害が起きないように 安全な場所・家に 災害は″ある

ストー

リーです。例えば東松

き残った方の出来事であり、 加えて着目してほしいのは生 話題が多かったと思いますが は犠牲になった方の出来事の

国です。

つまり「自然災害は

世界からみて日本は災害大

所です。東日本大震災のとき 前から私有地に整備した避難 ま』は佐藤善文さんが震災以 島市野蒜地区の『おさとうや

問いを投げかけられることも なぜ住み続けるのか」という な大きな地震が起きる場所に 地震のない国の人から「あん 以上の歴史を紡いできました。 起きる」という前提で二千年

には実際に地域の方がここへ

多くの命を救いまし

広く知られるようになればと

このストーリ

ーがもっと

まな恵みや幸せをもたらすこ 国土が災厄だけでなくさまざ ありますが、私たちは日本の

とを知っています。

火山があ

念です。 能になるのも過去のデ ですが、そうした選択肢が可 体験があるからこそ。 かるので実現は容易ではない (グリッド) が注目されています。供給網 ではオフグリッドという言葉 も暮らしが完結するという概 いま能登半島地震の被災地 実際にはコストがか がオフになって

えちごせきかわ大したもん蛇まつりの様子(2018年8月,佐藤翔輔撮影)

出典:佐藤翔輔(2020):1967年羽越水害の伝承手法としての「えちごせ きかわ大したもん蛇まつり」の成立・継続・効果に関する調査・考察,自然

「だから持続可能性という点

災害科学, Vol. 39, No. 2, pp. 157-174

世代に受け渡すことができま ます」と佐藤さんは語ります。 リテラシーが必要になってき それを正しく使う能力、 材料はいくらでもあるのです うとすれば判断の根拠となる さらにいえば、災害伝承は めて30年は続けないと次の 情報

です。 組みがあります。津波被害を はある程度壊れることも大切 伝承する木碑です。石碑と違 大船渡市には素晴らしい取り るからです。この点で岩手県 防災意識を高める機会にもな ることで記憶を新たにでき、 ちが手を掛けてそれを修復す っているのです」。 って木はすぐに朽ちますから 『作り直す』ことが前提とな 「そして、伝承のための媒体 なぜなら、地域の人た

うだったね』『あの人はいま だけが目的化しては続かない こうしているよ』という会話 す。「おのずと『あの時はこ 会うことにこそ意味がありま 日に同じ記憶を持つ人たちが と佐藤さんは語ります。 記念

> ができます。これが食事会や 防災対策の見直しを図ること その都度、記憶を焼き直し、 のはそこで会話を交わすこと が生まれるでしょう。大切な

の教育が基本となります。 ステージゲートである学校で せん。それだけに誰もが通る

そこに、 情報だけしかお伝えしません 他の誰かが科学的に検証した 目することに尽きます。 然と共に生きていけるかに着 者である以上、 ントが見えてくるのです」。 き残ったのか、 よりよく共生するヒ 、自分あるいは どう したら自

慰霊祭にしても伝承



慰霊祭の様子(2017年3月佐藤翔輔撮影,上部:普代

出典:佐藤翔輔, 今村文彦(2017):東日本大震災にお ける「津波による犠牲者ゼロ」の地域を対象にした探索 的調査, 地域安全学会梗概集, No. 40, pp.181-182

村太田名部地区,下部:洋野町八木地区)

色を堪能できるのです。 や温泉、四季折々の美しい景 土壌が作られ、おいしいお酒 るからこそ豊富な水と肥沃な

ほしいです」と佐藤さん。

「振り返れば、

震災発生直後

目的としないこと伝承の秘訣は、伝承だけを

スを見るトレーニングをして

思います」。

ましさを感じさせます」。 入れて生きていく覚悟とたく

地域の大蛇伝説とからめて開 機付けも強まり、継続につなットになっていれば参加の動 登場します。 祭のメインには竹とワラで作 説は一説には過去に起きた洪 催される稀有な行事。大蛇伝 数の犠牲者が出たことを教訓 年8月23日の羽越大水害で多 れました。これは、1967 の「えちごせきかわ大したも がります」と、新潟県関川村 水を物語にしたものといわれ、 ん蛇まつり」を例に出してく お祭りなどの楽しいこととセ られた長さ8・8mの大蛇が 「私の研究は、 防災意識を高めるために なぜ災害で生

「もしもすごろく」はこんな時に役立っ!

災害時の 行動パターンを 学べる

「私は発災時にどう動くべきなのか」というシミュレーションを通して、命を守るための手段や方法がひとつでも増えることを大きな狙いとしています。

地域の 災害リスクが 中かる

家族や地域の人々と対話しながらつくることで、地域の災害リスクを数多く発見することができます。自治体の防災マニュアルなども参考に、みんなで意見を出し合いましょう。

防災グッズの 知識が 身に付く

防災グッズはいつ、どんなタイミングで使うべきかきちんと理解していますか?いざという時に困ることがないよう、使用方法や工夫についても改めて考えることができます。

machico防災部員が もしきすごる<をつくってみた!

Step. 1

日常で感じる心配事を書き出す

「川沿いに住んでいるから大雨が心配」「一人暮らしの母親が被災したら…」。こうした心配事を書き出し、地震編・風水害編・津波編から自分に合ったものを選びます。



普段の生活の中で "ちょっと心配だけど、 まだ対策はできてい ない"という防災の心 配事を書き出す ことが大切です。

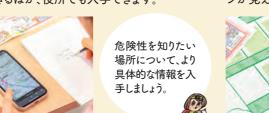
想定するのが意外と難

ですが、自分の生活を振り返りながらすごろくを埋めてい

「これも危ないかも…」と新たな発見がたくさんありました。

Step. 2 ハザードマップを準備

自分の住まいや実家にどんな災害リスクがあるのか理解するため、ハザードマップを確認。ハザードマップはインターネットで確認できるほか、役所でも入手できます。



発災シチュエーションを想定

Step. 3

誰が、どこで、何をしている時に災害は起きる?季節は?時間帯は…?こうした状況を想定することで、それぞれに必要な行動パターンが見えてきます。



自分ごととして考えられるように、発災 状況は自分の生活 に沿った想定にしましょう。



体験(てみた人)
machico防災部員 **ぷりぱん・てん**

今回はこの制作者であり、防災に関する情報を 発信し続けているイラストレーターのico.さんにお話をうかがいました。

イラストレーター/防災士 iCO. さん

□:ご自身の経験をイラストで伝えることにどんなメリッで伝えることにどんなメリットがあると感じますか?
□:イラストなら漢字が読めな人にも垣根なく伝えられるな人にも垣根なく伝えられるな人にも垣根なく伝えられるな人にも垣根なく伝えられるな人にも垣根なく伝えられることはラッキーでした。
□:イラストで知ることで防ことはラッキーでした。

を伝えたいけれど、

その方法

という方たちに

すごろくで大

う印象を受

響があった時はうれしかった

防災教育や災害教訓

防災教育に使いたいと反県内外の町内会や学校か

が生まれまし

験から得た教訓を私の中だけにといることがあったんです。もっとできると思ったんです。もっとできることがあったんじゃないかって。それがきっかけになっています。今は被災経験と防災情報ます。今は被災経験と防災情報のどちらも伝えられる立場になり、使命感を持って発信していり、使命感を持って発信していり、使命感を持つて発信している意識がありまする。

様形被害にかえて、今系テ年でが被害にかえて、今系テ年でうした経験をどうして発信でうした経験をどうして発信ですると思ったのですか? ・co・さん(以下●):被災経 ・wから得た教訓を私の中だけに ・wから得た教訓を私の中だけに ・なった時にすごく後悔す

つかけで生まれたのですない。
「もしもすごろく」はどんない。
はないないですない。

話し合ったことはありますか?

話すきっかけ よく話している
24%

だない 7%

話したいと思うが、何を話せばいいか わからない 13%

せんだいタウン情報

WHAT'S

災害が

machico防災部とは

仙台・宮城の人とまちを元気にする地域コミュニティサイト 「せんだいタウン情報machico」の編集部員が、 防災・減災に役立つスキルを体験して発信する「部活動」です。

して関心を持

してくれた方の紙で伝えた験を時系列を

てもらいたい

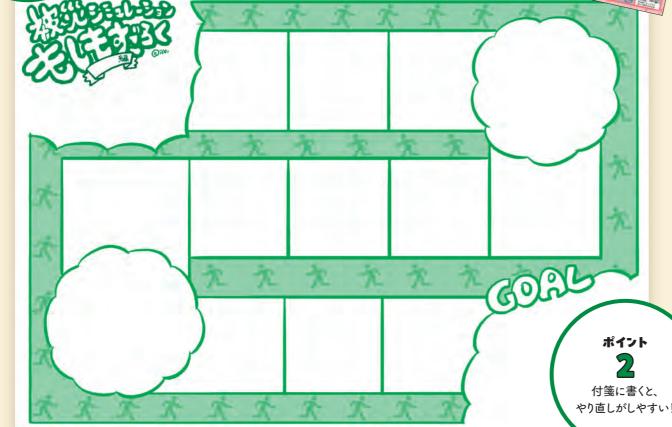
machicoから アーカイブが 見られます!



どんな問題が発生するか

自分が暮らす地域の被害想定を確認したら… もしもすごろくを作ってみよう





ポイント 3 災害によって意識するポイント

風水害

台風などの水害編の場合、台風が接近する2、3日前 から情報収集をすることがアクションの第一歩になり ます。家族に小さな子どもや高齢者、ペットがいる場 合は早めの避難が必要になります。自分たちがどの 段階で避難するべきなのか、自治体から発令される 避難情報と合わせて事前に確認しておきましょう。

地震

ハプニングを細かく予想し書き入 れてみましょう。想定外の出来事 は、その対処法を誰かに聞いてみ ることでお互いの"自分ごと"とな り、防災意識を高めることや学び を深めることにもつながります。

津波

何よりも情報収集が最優先。ラジ オなどで情報を集め、いち早く避 難することを徹底します。SNSには デマも含まれるため、自治体からの 正確な情報を入手できるアプリを 事前に用意することも大切です。



ポイント

絵が描けなくても 大丈夫

> 「もしもすごろく」の 詳しい作り方や ico.さんの 防災ポートフォリオは こちら





被災シミュレーションを してみよう

住まいや職場など、身近な地理を予め理解しておくことでできる災害対策があります。 それが地図を使った「DIG災害図上訓練」です。

シミュレーションは家族や地域住民などのグループで行うことが推奨されています。

Disaster Imagination Game (災害) (想像力) (ゲーム)

IG災害図上訓練

自分が住む地域の地図に、地震や風水害の災害リスクを書き込むトレーニングのこと。 災害と地域への理解を深めるのに加えて防災意識を高めるのが目的です。



DIG訓練の流れ

Step. 1

自分が住む地域の地図を用意

地図やハザードマップから読み取れる災害リスク を把握しながら、自分たちが住む地域や街のつく りを理解します

Step. 2

被災の想定エリアに色を付ける

津波や洪水災害などの想定区域を地図上に書き 込みます。避難所や学校、病院など、被災時に重 要な場所にもカラーペンやシールで印を付けます

Step. 3

みんなで災害リスクを話し合う

災害時の状況をイメージしながら、参加者全員で そのリスクについて話し合いましょう。お互いの防 災意識を高め合うこともDIGの狙いです

宮城県内各市町村の ハザードマップ

○○○市 水害 ハザードマップ

自分が住む地域の災害リスクを確認しておきましょう。



や害

(対対ば

の

頭文字

211

ズの



本プロジェクトの企画者であ る、みやぎ東日本大震災津波 伝承館 ボランティア解説員の

とても勉強になりま

代の活動を見学し、 高生を中心に、 続々と集まり、

伝承を考える機会に同世代同士で

宮城県内の伝承施設各所でボました。このプロジェクトは、クト」の第一回目が開催され ティア解説員を行っている西大震災津波伝承館」でボラン 点でこれからの震災伝承につ ランティア解説員を務める中 生・高校生震災伝承プロジェ いて議論するというもの。 心のある中高生が集い、 伝承館には中高生が 「みやぎ東日本 伝承活動に関 「みやぎ中学 彼らの視集い、同世 企

雪がちらつく12月8日の日

〈気仙沼市〉

□津波被害を知る □証言を聞く □避難を考える □復興を感じる

ボランティア解説員・語り部紹介

震災伝承プロジェクト

@みやぎ中学生・高校生



をサポ

る東北大学

第1回目は中学1年生から高校3年生まで15名が参加



ワークショップでは4つの班に分かれ、「これからの 震災伝承について」などのテーマで意見交換

みやぎ中学生・高校生震災伝承プロジェクト 本研修会を実施するため、みやぎ東日本大震災津波伝承館でボ ランティア解説員として活動する中高生を中心として結成された もの。今年度は第1回目を令和6年12月8日(日)、第2回目を令和6 年12月21日(土)、第3回目を令和7年1月11日(土)に実施。 【主催】みやぎ中学生・高校生震災伝承プロジェクト実行委員会 【協力】宮城県【後援】東北大学災害科学国際研究所 【問合せ】宮城県復興支援・伝承課 6022-211-2443



この日の会場である気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

の語り部の説明を聞きながら館内を見学

自発的な取り組みが、地域の地元の中高生たちのこうした 伝承を支えていくはず。 ない世代が増えていくなかで した中高生たちの前向きな姿

勢がとても印象的でした。

熟なもの同士だからこそ話せ

気づきになること

った場

ちの視点で、

伝承の解説が未

った。震災当時幼かった私た じ目線で話し合うことが無か

を企画してみました」と話し

てくれました。

ボランティア解説員の育成

るのは、 真摯に向き合っている証拠で 災害科学国際研究所の佐藤翔 えながら伝承活動をしてい た以上に、学生たちは深く考 輔さんは、 会になりましたね」と期待を る。これだけ議論が盛り上が お 互 い 確実に彼らが成長する機 一人ひとりが未来と の意見を聞くこと 「私が想像して

込めます。 東日本大震災を知ら



興住宅を宿泊施設へ再生

波湾テラス~考える

vol.11

間から寄付を募り2億円以上 が土地の提供や工事などで協 もずっと残る文化財になるよって50年、100年、その先 を集めて建設されました」。 力しました。 うにというコン 手がけ 工学院大学が民 地元の建設会社 たのはエ トで作ら

復興住宅や自主再建でより広 地元経済の活性化を同時に図 法になるべく近い方法で地元 ようになると転居する方が増 たちが暮らしました。 初は被災した地元の漁師さん りながらのプロジェクトでした。 の大工、職人が参加。つまり 東北産の木材や国産の木材を 出来上がった住宅には、 内容にもこだわり、 工法においても伝統工 土地に住める 建材は 公的な 当

壊さなくてはなりません。

の建設と取り壊しに合計約1

00万円かかるんです。

常、プレハブの仮設住宅を作

原則として2年で取り

と言われていた建物です。

通

画、運営をされている鷹野秀 が生まれた背景について、企

ら宿泊客が訪れます。この宿

の宿泊も可能で、

全国各地か

征さんにお話を伺いました。

「ここはかつて白浜復興住宅

大型犬や、犬・猫以外のペッ

と一緒に宿泊することができ、

追波湾テラス~考える葦~」

当する金額で最初から恒久住

れないかと

声が多数届いています。も 宿泊者に限りペット同伴OK。 食をいただく近くのカフェも、 にドッグランもあります。 というのが魅力。各棟のテラ びのびと自然を満喫できる そのため、 は住宅や観光施設などは少な 浜ホテル」という宿泊施設が 宿泊も増えています。 ル」を楽しむ外国人旅行客の したかった!」という喜び スは広々としたつくりで、 らしいロケー あった場所と ペットと一緒にこんな旅行が 目の前に海が広がる素晴 ペットがいなくても宿 「みちのく潮風ト

かと議論した結果、ペットと地域活性に活用する道は無い 一緒に泊まれる宿にシフト とは隣接地に

北上町に、

年7

の河口に広がる追浜湾を見 ろすことができる絶景の宿

ペットと一緒にの も少ない場所です。 ション。周りに いうこともあ 0





追波湾テラス〜考える葦〜 DATA ②宮城県石巻市北上町十三 浜下山15番地2 60225-98-4375

夜は星空の美しさも魅力。2階建てが7棟、平屋が3棟の計10棟

https://oppawan-terrace.jp/

設置さ り返ることで復興の過程を学べるだけでな 年間をま 再建に尽力した人々の力強さにも思 発災直後の町 「東日本大震災特集コ ルで展示。 の様子や浸水域などの 当時の被災状況を振 東日本大震災後に 興に至るまで の運行再 新たに整備 復興 時系列に 0 歩

ら30周年を迎えた ‡-ワ-ド▶ □津波被害を知る□まちの歴史を知る□復興を感じる



るような内容になってい

亘理町立郷土資料館





〈上〉古代の人々の暮らしや歴史に関する 資料を展示。亘理伊達家に関する貴重な資 料も展示されている〈下〉社会の動向ととも に町の出来事が記された年表。慶長三陸 地震津波(1611年)なども記され、災害の

資料館入口には町内の地形図が。その中 央にはスクリーンがあり、町史をまとめた 映像が映し出される

視点から歴史を捉えることもできる





でみましょう。 残った特徴を書き出し 残った特徴を書き出し 地区のどんな特徴が見つ



『わたしたちの中野』について

街の発展や人々の営みなど、蒲生地区の変遷を記した年表。

豊かな自然や、水路の歴史 ふるさとの宝に触れる場所

再生可能エネルギ

のひとつである、

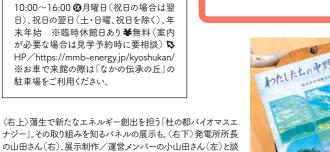
ス発電に取り組む

「杜の都バ

その発電所内にある「蒲

震災だけではない様々な視点から地域を振り返る

生なか



□津波被害を知る □証言を聞く □復興を感じる □アートを見る

杜の都バイオマス発電所

蒲生なかの郷愁館

中野小学校の思い出の品を展示。館内からは小学校跡地に整備された

「なかの伝承の丘」を臨むことができる

DATA ❷宮城県仙台市宮城野区蒲生4-1-1

(杜の都バイオマス発電所管理棟1階) €

施設

笑する館長の下山さん。「ここにふるさとがある、と語りかける場所で ありたいです」〈左下〉中野小学校児童の副読本として編集された 「わたしたちの中野」。蒲生地区を多角的に深堀した内容は、この



で愛され

た中野小学校

の卒業アル いて展示。

た杉の切り株も展示され、

が息づく蒲生干潟に

山堀が

たら

た仙台の発展、

豊かな自然 1の変遷や

この地域 ムや

中野地区

東日本大震災の記

DATA ②宮城県亘理郡亘理町字西郷140 (悠里館1階) 60223-34-8701 € 9:00~16:30(入館は16:00まで) 6毎 週月曜日、毎月最終金曜日、祝日(特別 開館日を除く)、年末年始、2月中の特別 整理期間 ¥無料 ♥https://www.town. watari.miyagi.jp/museum/

んと復し

毎月第2土曜・翌日曜に上映される 「わたり復興の歩み」。発災直後に 撮影された写真も交え、被災状況を

わたり復興の歩み 平成23年(2011)3月11日に発生した 東日本大流災から復興に至る10年の町の 歩みをまとめた映像を上映します。 毎月第二土曜日と翌日曜日 ※8月11日(日・祝)は休館 ため休止

ナー。写真展示を通じて、町の約半分が 浸水した津波被害の大きさを伝える

こと、感じたことも た展示を見て学り までの過程をまり 復興事業が完了— 振り返る貴重な記録になっている

展示の原点になっている

きてみてマップ

きてみてで紹介した施設のほか、 特集・あしたのクリエイティブで紹介した場所も 記載しています。





宮城の復興の「いま」を SNSでお伝えしています! 皆さまからの投稿も お待ちしております!











◆ 宮城県



Instagram